



若年性認知症の **人** と はたらく

株式会社ニチイ学館
大宮支店 ヘルスケア課
古橋 裕己

■2007年株式会社コムスンに入社。その後コムスンショックを経て、同年11月にニチイ学館の子会社に承継され、現在に至る。

当初から高齢者のグループホームという介護施設に配属され、認知症ケアをはじめ介護職として学ぶ。

・いくつか拠点異動を経てグループホームのユニットリーダー、ホーム長、そして2015年に有料老人ホームの施設長の経験をさせていただき、5年間勤める。

・2020年に、ニチイ学館大宮支店のヘルスケア課課長職として在籍。

■施設介護従事中には認知症高齢者の方約300人以上関わってお世話させていただいてきました。

・パーソンセンタードケアという考え方に重きをおき、「その人らしさ」を尊重した介護を心掛けて参りました。

また、認知症サポーターキャラバンメイトとして地域の方々に認知症とは何かというお話をするにも少し携わってきました。



やさしさを、 私たちの強さにしたい。

"人が本来持っている、人を心から想うやさしさを、
社会を支える誠意ある強さに育てる"という決意を
込めています。

これからも、人を想うやさしさで社会を支える事業
を展開し、「人」の力で、人々と社会に貢献する企
業を目指します。

社名の由来



診療所における医療保険請求業務の受託から始まったニチイ学館。

その後、日本初となる通学形式の医療事務講座を開講し、人材育成（教育）事業を開始しました。
その社名は「日本の医療を学ぶ館」に由来しています。

ロゴマークの由来

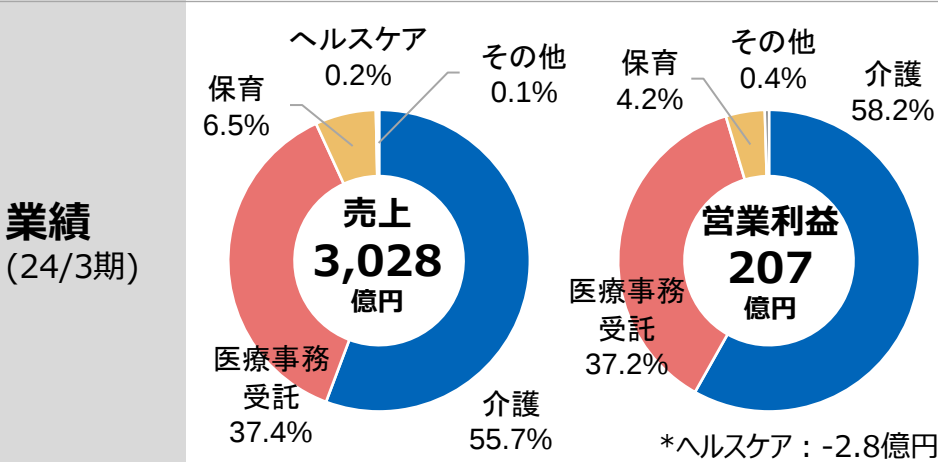


ニチイの頭文字である「N」と「羽ペン」をモチーフとして作られました。

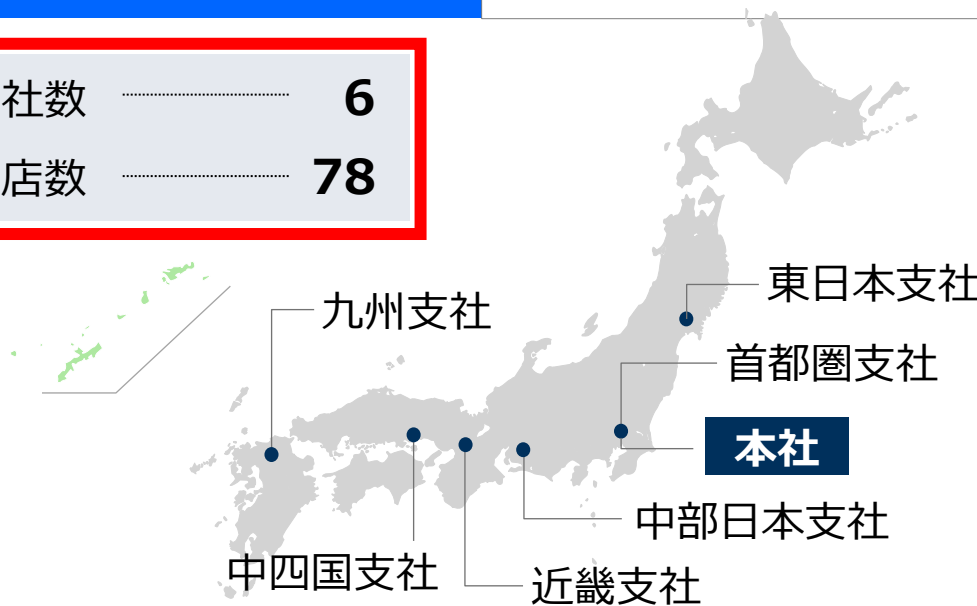
創業のきっかけとなった保険請求事務作業が当時はペンによる手書きであったことに由来し、請求業務をイメージした「羽ペン」とニチイ学館の飛躍を「羽」で象徴し、表現しています。

ニチイ学館の企業概要

本社	東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ
創業	1968年12月
代表者	森 信介
主な事業内容	介護事業・医療事務受託事業・ 保育事業・ヘルスケア事業
従業員数 (24/3時点)	34,194名 (臨時雇用者数：51,341名)
社是	誠意・誇り・情熱



支社数	6
支店数	78



介護	
訪問介護	1,492
通所介護	380
居宅介護支援	288
グループホーム	315
老人ホーム	72
小規模多機能	58
その他	186

医療事務受託	
病院	1,660
診療所	5,957
保育施設	
認可	65
小規模	108
企業主導型	91
委託・その他	60

(医療：FY24/3期 介護・保育FY24/10時点)

笑顔で、いつまでも。
トータル介護サービスで「自分らしい暮らし」を。

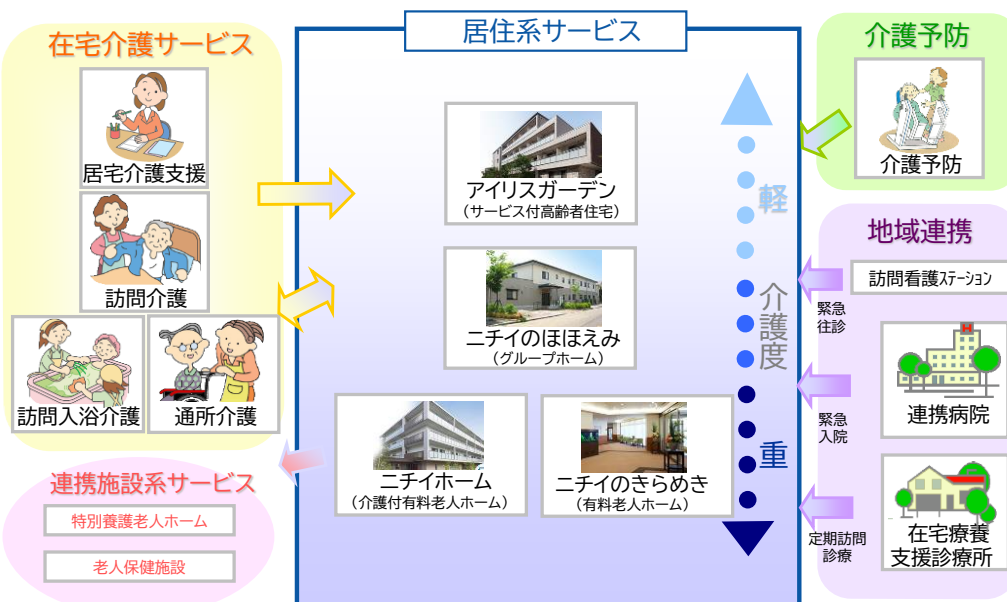
ニチイの介護は、お客様お一人おひとりに寄り添った介護サービス。

在宅系介護・居住系介護のサービスから生活支援サービスまで、あらゆるラインアップを取り揃えたトータル介護サービスを提供しています。

全国にある1,900カ所以上の拠点で約15万人のお客様がご利用されています。

Position	売上高	業界
	約1,350億	在宅系1位
Asset	事業所数	従業員数
	約1,900拠点	約34,000人
Contract	利用者数	
	約150,000人	

地域連携による介護(イメージ)



在宅系サービス

お客様お一人ごとの心身状態にあわせるほか、ご家族の要望をふまえ、ご自宅で介護を必要とされる方の日常生活をサポートします。
ケアマネジャー、主治医、看護師と連携し、チームで介護にあたります。



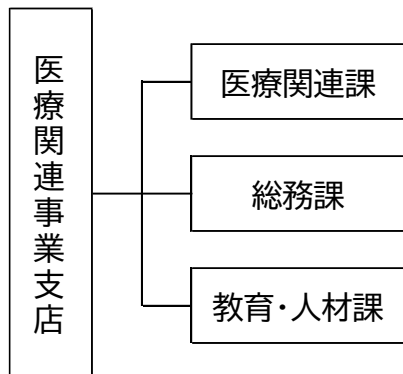
居住系サービス

身体介護、食事・レクリエーション・機能訓練等、幅広いサービスを居住系施設種別ごとの法令・運営基準にそって提供しています。
安心を傍らに、その方らしい生活をサポートします。



ニチイ支店の組織構造(2024年10月)

医療 64支店



医療関連課

- ・受託ユーザーの運営指導と管理
- ・新規ユーザーの営業活動
 - ✓事業計画、マーケット調査、運営指導、人財育成(管理)、リスク管理、営業活動など

総務課

- ・総務/経理に関する事項
- ・雇用管理や労働安全衛生
 - ✓事務所運営・保安、経理・債権、入社手続き、給与処理、派遣管理など

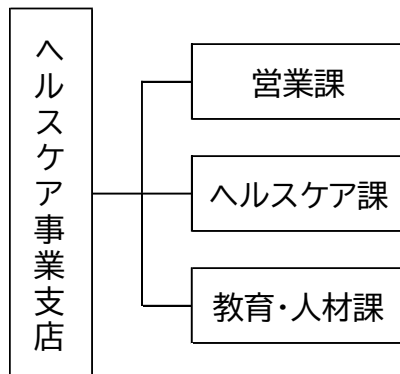
教育・人材課

- ・教育講座運営と採用に関する活動
 - ✓開講計画、受講生募集(管理)、教室運営、講師育成、採用活動など

各課共通

- ・コンプライアンス

介護 78支店



営業課

- ・介護業界全般/競合他社の情報収集
- ・新規取引に関する営業活動
 - *広域支店は営業活動をヘルスケア課に統合

ヘルスケア課

- ・介護拠点の運営指導と管理
- ・新規開設に関する立ち上げ
 - ✓事業計画、業務運営指導、人財育成(管理)、請求管理、リスク管理など

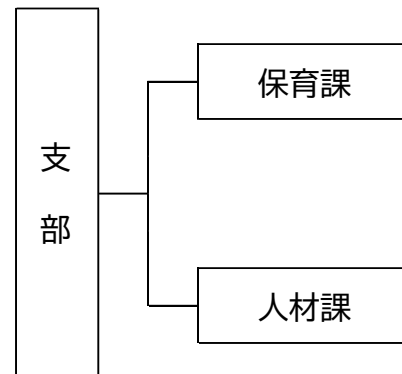
教育・人材課

- ・教育講座運営と採用に関する活動
 - ✓開講計画、受講生募集(管理)、教室運営、講師育成、採用活動など

各課共通

- ・コンプライアンス

保育 13支部



保育課

- ・保育拠点における運営指導と管理
- ・新規開設に関する物件確保や営業活動
 - ✓事業計画、業務運営指導、請求管理、拠点事務所の保安、リスク管理など

人材課

- ・採用に関する活動
- ・拠点人事/雇用管理
 - ✓採用活動、入社手続、勤怠管理、人財安定化に関する事項

SV(スーパーバイザー)

- ・保育園業務の品質に関わる指導(管理)
- ・保育スタッフの人財育成

各課共通

- ・コンプライアンス

職務略歴

■1985年大学卒業後、某自動車部品販売会社のプログラマーとして入社。その後、SE、40代には情報システム課長として昇進する。様々な会社貢献してきたものの、病魔により2021年11月に退社。2022年3月に別の会社に入社したが、周囲への配慮から同年4月に自己退社する。

2022年12月に障がい雇用にて弊社へ入職する。

A氏の性格

■1961年生まれ 現在63歳

■穏やかで温厚。周囲への挨拶を積極的にするなど社交性も非常に優れている。几帳面な性格がある半面で、心配性なところもある。



若年性認知症の発症経緯

■50歳台半ばから徐々に発症

2017年5月に部署異動があり、ストレスを感じるようになった。

その後新しい仕事でもケアレスミスが多発した。社会的なコミュニケーションが不得意になり、意欲低下も見られた。うつ状態が見られたことから「適応障がい」と診断される。

■自身の状況が理解できない日々

上記のような症状に対し、「仕事から来るストレスだろう」と

思っていたものの、状況が徐々に悪化し、仕事においても差し障りが多く出るようになってきた。

■若年性認知症の診断

60歳手前で、平社員に降格し、60歳になるまでなんとか雇用延長させてもらい、2021年11月に退職した。その後、自身で状況を色々と検索し、後に主治医となる医療機関へ受診し、改めて「アルツハイマー型若年性認知症」の診断を受ける。



A氏の病状の特性

■私生活

歯磨きをしたのにも関わらず、実施したかどうかわからなくなりもう一度歯磨きすることもある。
自室の整理整頓はできているものの、鍵、携帯電話、財布などの保管場所が分からなくなり探し物をすることが多い。

服薬の為にコップに水を入れ、水だけ飲んで薬を飲み忘れることがある。

■意思伝達と対人関係

同じような質問を繰り返す。
以前よりもイライラしやすく、怒りっぽくなった。
人の名前や顔が思い出せないことが増えた。
単語が出てこないことがある。



A氏の病状の特性

■安全保持及び危機対応

いつも行っている場所でもルートを間違えて目的地にたどり着けないことがある。
注意力低下から自転車を運転中に危険な目にあうことが増えた。
電気、エアコンの消し忘れがある。

■社会性

見当識が曖昧でカレンダーで確認しないとわからない。
マニュアルを読んでもすんなり頭に入ってこない。
何かやりかけているときに他の事をやると、やりかけていたことを失念する。
文字が下手になった。また漢字も思い出せない。



入社前における話合い

■若年性認知症の理解

高齢者の認知症とは違う、若年性認知症における心理の理解に努める

■業務内容とその範囲

認知症の特性の理解と本人の得意分野を引き出す

■出勤日と勤務時間の設定

本人とも相談し、体力、精神的に可能な範囲で働ける、時間、曜日を本人の希望に最大限合わせて提案

■担当者と責任者の分担

日々業務の指示をしたり、身近に相談にできる担当者の配置。
責任者は客観的な立ち位置からの状況整理と状態把握を実施。



東映株式会社 2006年作品「明日の記憶」

得意・不得意の把握

■不得意

- ・マルチタスクをこなす
- ・電話の取次ぎ
- ・新しい仕事を覚えること
- ・字を書くこと
- ・人の顔を覚えること
- ・焦らされること
- ・長時間の勤務
- ・突発的な業務依頼
- ・資料を数える作業が苦手

■得意なこと

- ・PC業務(エクセルの貼り付け、タイピングなど)
- ・ルーティーン業務
- ・昔作業していたような業務
- ・書類整理



弊社におけるA氏の業務内容

■勤務日時

- ・週4日出勤(月、火、木、金)※水曜日は通院が多い為週の中休みを兼ねて設定
- ・勤務時間 9時00分～15時00分 (休憩12時00分～13時00分まで固定)

■業務内容

- ・メールを確認し、各介護事業所(27拠点分)から毎日送られてくる売り上げの日次帳票の回収
- ・回収した帳票を一つのExcelファイルに張り付け及び集約作業
- ・前日データとの数値比較
- ・派遣職員の契約書整理



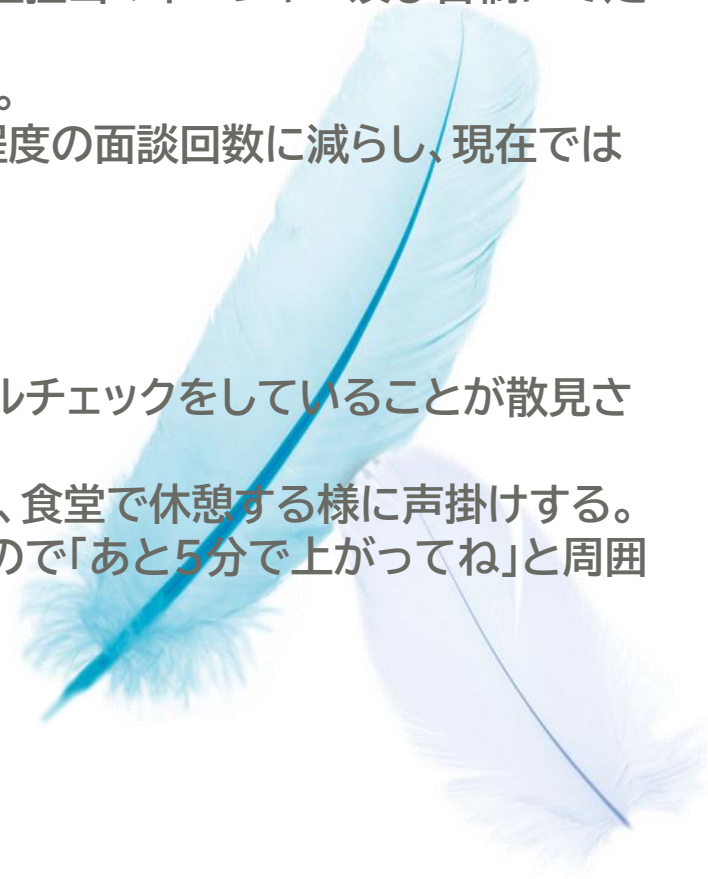
サポート体制

■就労支援センターとの関わり

- ・入社から半年程度は月に一度就労支援センターの相談員様、弊社担当マネージャー及び古橋にて定期面談を実施。
- ・困っていること、不安、業務改善の相談、業務状況の報告を実施。
- ・1年経過後は、本人も大分業務に慣れてきたため2カ月に一度程度の面談回数に減らし、現在では3カ月に一度になりました。

■適宜声掛け

- ・朝は、自主的に早めに出勤され、PCを開き、業務時間外にメールチェックをしていることが散見される為、業務時間の中で働いていただくよう声掛けを実施。
- ・昼休憩もパンを片手にかじりながら業務をする傾向にあるため、食堂で休憩する様に声掛けする。
- ・業務終了時間5分前に終業のアラームが鳴るようになっているので「あと5分で上がってね」と周囲の課員が声掛けする環境にしている。



弊社側が工夫していること

■特別扱いはしていない

- ・若年性認知症を患っていることは把握しているにしても、特別扱いはよくも悪くもしない。
- ・日常的に他の課員同様、普通に接している

■尊敬と信頼する

- ・SEやプログラマーとして活躍をしていた為、PCスキルが高いこともあり弊社課員はA氏を本当に心から頼りにしている。

■無理をさせない

- ・他の課員同様、業務上無理が無いよう仕事量を調整。多からず、少なからずとならないよう業務を担ってもらう。



若年性認知症を受け入れることができなかった自分…

■リンカフェとの出会い

・本当に不安で仕方ない日々にネットで検索した時に「さいたま市若年性認知症サポートセンター」の存在は大きかったと話します。そこでリンカフェというものを知り、そこで出席していた他の若年性認知症の方々と共に時間を共有したことで「これだ！」って思えたと話してくれました。

・前向きに進みたいという中で障がい枠での雇用に踏切り、某障がい者就労支援センターに行き、弊社を選んでくださったとのこと。

■助かっていること

「電話業務をしなくていいのは非常に助かっている。」「水曜日が休みのおかげで週末まで疲れをため込まずに仕事ができている。」「自分の机があり、PCもあり、前の仕事と同じパターンで仕事がやらせてもらえているのがありがたい。」「特別扱いしてないのが伝わってくる。ふつうの社員として扱ってくれているのが本当にありがたい」と話される。

■工夫していること

・自分でわかるように、自分の業務をマニュアル化して文章でまとめている。

・タスクを付箋でPCモニターに張り出し、業務を可視化している。

「若年性認知症の人とはたらく」こととは

- ・病気のことは理解が必要。けど特別視はしない。
- ・公的機関を十分に活用してもらう
- ・尊敬や敬意をもって接する。
- ・得意な分野を理解し、それを十分発揮できる環境を用意する。
- ・「ありがたい」という気持ちを忘れない。

企業に求められること

- ・認知症を患ってもまだまだ社会貢献したいという人がいることを知る。
- ・ポジティブに捉え、「どうしたら現有能力を活かせるか」という視点を持つ。





ここまでご清聴いただき、ありがとうございました